

実花レジェンド初優勝

習志野市少年野球春季大会



優勝の実花レジェンド



準優勝の向山ファイターズ



第3位の習志野ベイドリームス



第4位の習志野フェニックスA

第47回習志野市少年野球春季大会が5月3日から5日まで、第一カッター球場ほかで開かれた。青空が広がり、こいのぼりが揚げられた球場には、14チームの全選手が集まった。開会式では3年ぶりに入場行進で行われ、来賓の宮本市長は「はつらつとしたプレーで習志野市中を元気にして下さい」と激励した。選手を代表して、習志野フェニックスAの塩澤拓馬主将が「多くの方々に感謝の気持ちを持ち、日頃の練習の成果を十分に発揮し、全力でプレーすることを誓います」と力一杯、宣誓した。

3日間の大会の結果、実花レジェンドがこの大会、初制覇を果たした。実花レジェンド、準優勝の向山ファイターズ、第3位の習志野ベイドリームス、第4位の習志野フェニックスAは6月の第45回関東学童軟式野球千葉県大会、上位3チームは8月の第52回千葉県少年野球大会(千葉日報旗)に出場予定。

表彰式では習志野中央ライオンズクラブから活躍した選手たちに個人賞が贈られた。

【個人賞】習志野中央ライオンズクラブ賞
 ▼最優秀選手賞 高橋翼 実花レジェンド
 ▼最優秀投手賞 中臺亜夢(実花レジェンド)
 ▼最優秀打撃賞 石井彩心(向山ファイターズ)
 ▼最優秀敢闘賞 小林一希(向山ファイターズ) 檜山泰士(習志野ベイドリームス) 柳下恵大(習志野フェニックスA)

大会結果は次の通り。	▽1回戦	▽2回戦	▽準決勝戦	▽3位決定戦
津田沼少	15-1 実花レジェンド	習志野ベイドリームス 5-2 津田沼少	習志野ベイドリームス 0-0 0-0 0-0	習志野フェニックスA 0-0 2-6
大久保フ	7-0 習志野フェニックスB	向山ファイターズ 11-1 大久保フ	向山ファイターズ 0-0 2-3 0-0	習志野フェニックスA 0-0 2-2
向山ファ	8-2 鷺沼マリ	向山ファイターズ 0-1 0-1 0-0	向山ファイターズ 0-1 0-1 0-0	習志野フェニックスA 0-0 2-2
藤崎シー	8-1 大東あづま	実花レジェンド 0-0 0-0 3-0	実花レジェンド 0-0 0-0 3-0	習志野ベイドリームス 6-3 7-16
実花レジ	7-0 袖ヶ浦ボ	習志野ベイドリームス 6-3 7-16	習志野ベイドリームス 6-3 7-16	習志野フェニックスA 0-0 2-2
習志野フェ	8-2 ならしの	習志野フェニックスA 0-0 2-2	習志野フェニックスA 0-0 2-2	習志野フェニックスA 0-0 2-2
フェニックスA	8-2 フレンズ	習志野フェニックスA 0-0 2-2	習志野フェニックスA 0-0 2-2	習志野フェニックスA 0-0 2-2



選手宣誓

▽決勝戦
 実花レジェンド 4-1 0-0 0-0 0-7
 向山ファイターズ 1-0 3-0 0-0 1-2
 7 12

▽バツテリー 中村、糸山、中臺、糸山、中臺、糸山(実花) 島田、村田、小林、村田、島田、田中、扇(向山)
 ▼二塁打 高橋(実花) 田中、橋本、石井、市川(向山)
 ▼三塁打 扇(向山)

【後記】決勝戦は実花レジェンドと向山ファイターズとの対戦となった。実花は接戦の準決勝戦にスクイズで逆転勝利。向山は新人大会優勝の習志野ベイドリームスを破り、2年連続で決勝戦に進出した。

1回表、実花は1番赤城が四球と悪投球で二塁へ。3番高橋の左越二塁打で赤城がかえり1点。高橋は悪投球で三塁。4番中臺の投強襲打は三塁側ファウルグラウンドに転がり、高橋

▽決勝戦
 実花レジェンド 4-1 0-0 0-0 0-7
 向山ファイターズ 1-0 3-0 0-0 1-2
 7 12

が 5 番中村の右ゴロで中臺は二塁に進み、6 番糸山は死球。重盗で二死者。三塁の場面に、7 番海老根の中前安打で2者がかえりこの回4点を挙げる。1回裏、向山は2 番小林が四球。3 番扇の左線三塁打で1点を返す。実花は2回表、9 番井口が内野安打。二死後、牽制悪送球で三塁に進塁。高橋の左前安打で1点加え、再び4点差とする。

向山は3回裏、先頭の4番島田が中前安打。5番浅野は四球で無死走者一、二塁。6番田中の左中間二塁打で1点を返し、さらに走者二、三塁。だが7番高橋の当たりを実花継投の糸山が好捕し一死。8番村田はバント。野選に悪送球も絡み、三塁から浅野がかえり2点目。9番代打の橋本の二塁ゴロの間に田中もかえり1点差に迫る。

3回、4回と無得点の実花は5回表、先頭の高橋がこの試合3安打目の左中間

特別延長戦の末、勝利! 実花レジェンド



優勝を喜ぶ実花レジェンドの選手たち

安打。高橋は盗塁。続く中臺は左中間安打だが、高橋は三塁犠牲となり、後続も向山継投の小林が断ち、追加点の好機を失う。最終6回表も二死ながら、井口が内野エラー、赤城が中前安打で出塁するが得点に結びつかない。

向山も4回、5回ともに無得点。好機は最終6回裏。先頭の高橋が三塁線へ二塁打。続く1番石井の左越二塁打で二塁から代走の

金井がかえり、同点とする。金井は三塁へ進むが、実花継投の中臺ががんばり、試合は一死者満塁からの特別延長戦に突入する。

延長7回表、実花の攻撃。高橋の左中間への安打で2者がかえり、連続四球で押し出し。糸山の右前安打でさらに2者がかえり、悪投球もあり、この回7点を奪う。向山は7回裏、二死から代打の市川が二塁打で2点を返すが、反撃はこ

までとなった。

実花レジェンドは平成25(2013)年に実花スターズと習志野エイトの合併で誕生。新チームでのこの大会での優勝は初。前身からは平成3(1991)年の第16回大会で実花スターズが優勝して以来の栄冠。

実花レジェンドの高橋翼キャプテンは「ピッチの場面でも、みんなで声をかけ合って全員野球をし、優勝することができました。次の大会でも優勝できるようにがんばります」と抱負を語った。